

## アニソンオーディオフェス2024

1 作品名 「げんこつキャンバストップ2024」

2 製作者 谷本 裕昭(タニヒロ)

3 製作目標

- 1) 小型・軽量のバッフル型構造の後面開放スピーカー(SP)システムとする。
- 2) SPユニットは台に固定した状態にして、そこにバッフル板を取り付ける。
- 3) SPユニットの振動板に追従して振動するキャンバス盤面構造とする。
- 4) キャンバスバッフル自体は、2.6ミリのステンレス針金を四角に折り曲げキャンバス生地を糸と針で縫い付けてバッフル板とする。
- 5) オープン構造でも、音質重視で低域再生と音場再現ができるもの

4 材料と基本構造

作品は、バッフル板等を振動し易いシンプル構造にした後面開放SPシステム。

SPキャビネットは、キャンバス生地をバッフルに活用し、固定したSPユニット(テクニクス製げんこつ20センチフルレンジ)へ、キャンバスバッフルの中央を外して4本のポリカネジで固定する。

なお、バッフルを固定するにあたり、スピーカー前面フレームとキャンバスの間にウレタンスポンジを介して固定し、バッフル板の振動が抑制されるのを軽減する。

5 特徴と効果

このSPシステムの特徴は、固定されたSPユニットの振動板に追従して、バッフル板が振動し易い構造になっている。

SPユニットに取り付けたバッフル板は、SPユニットの振動板の振動に追従して振動。低域の周波数で振動板がピストン運動して振動することでバッフル板もよく振動する。20センチフルレンジ一発ですが外見からは想像出来ない歯切れ良い低音域再生が実現でき、低域～高域までバランスの取れた開放的な音で音楽が楽しめる。

